

オイスカ in 四国

OISCA in SHIKOKU

vol.21

2022.3

世界の空はひとつ
四国の空もひとつ
みんなとつながる!



地球環境を考え、開発途上国の産業開発事業の推進と友好親善に取り組む国際NGO—それがOISCAです。

OISCA…O:Organization(機構) I:Industrial(産業) S:Spiritual(精神) C:Cultural(文化) A:Advancement(促進)





オイスカ四国支部 会長
泉 雅文

「オイスカin四国vol.21」発刊によせて

オイスカin四国21号発刊にあたり、ひとこと御挨拶を申し上げます。

日頃より、会員並びにご支援いただいている関係者の皆様には、オイスカ活動に御尽力と御協力いただき厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大により、四国支部においても、各種行事や研修生と地域の交流活動など、その多くが開催できず、やりたいことが思うようにできない状況が続いていましたが、10月以降、新規感染者が減少に転じ、少しずつ明るい兆しが見えてきつつあるように思います。

1961年10月に中野與之助氏によって創設されたオイスカは、2021年10月6日に創立60周年を迎えました。オイスカ本部は、創立60周年を記念して国際シンポジウムを開催し、今後の活動の指針としてオイスカが目指す持続可能な社会の実現に向け、自然の力を活かした社会課題の解決(EBS)と、ビジネスセクターとの連携やソーシャルビジネス

を通じた社会課題の解決(BBS)によるアプローチで世界課題に取り組んでいく、次期10ヵ年の計画を発表しました。その中で、これまで以上に力を入れていくこととして、政府や他団体の取り組みのモデルとなる緑化事業の推進や、人材育成分野では技能実習生の受け入れを増やす計画が示されました。

四国研修センターにおいてもこの方針に基づいた10ヵ年計画を策定し、さらなるオイスカ活動の展開に取り組んでいくこととしています。

新型コロナウイルス感染症が落ち着き、新たな研修生が着任した際には、感染拡大に備えた予防を徹底しつつ、各種行事や地域との交流活動などを再開して参ります。研修センターを含めた様々な活動は、会員の皆様によって支えられています。研修センターを支える会員組織として、これまで以上に皆様からのお力添えをお願いするとともに、改めて御礼申し上げ、挨拶とさせていただきます。



オイスカ香川県青年会 会長
浪越 大樹

オイスカ香川県青年会の設立にあたって

この度、11月9日のオイスカ四国支部総会にてオイスカ香川県青年会を発足する運びとなりました。

長い歴史と実績を持つオイスカの中で青年会の会長職を務めさせていただくことは大変光栄なことであると同時に、このコロナ禍での舵取りを行うことに責任の重さを痛感しております。泉顧問(青年会での役職)をはじめ、執行部の協力を得て全力を尽くす決意であります。

さて、いまから40年ほど前にも香川県には青年会があったとお聞きしています。日本国内にとどまらず海外への植樹、視察をはじめ、研修生との交流と多岐にわたる活動を精力

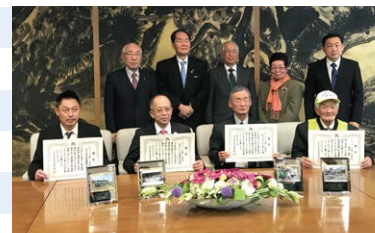
的に行っていました。当時のメンバーの方々は現在、四国支部、また各推進協議会で中心的な役割を担いながら前線でご活躍されています。

令和の時代に発足した我々オイスカ香川県青年会は、①研修生との文化的交流②若者の会員拡大③各推進協議会との連携を軸にコロナ禍でも可能な活動を模索し、若さと情熱をもって精力的に活動していきたいと思っております。

最後になりましたが、発足にあたり大変ご協力いただいた石井顧問、泉会長をはじめ役員の方々、各支部、推進協議会の皆様からのご敬意を表し、就任の挨拶といたします。

オイスカ四国支部の令和3年(2021年)の活動

2021年	3月3日	香川県ボランティア大賞 第20回大賞	
	3月19日	【香川県立北中学校・高等学校との連携協力に関する協定】を締結	
	3月26日	第32回オイスカ四国支部チャリティゴルフコンペ	
	3月26日	森のつみ木広場(高松市立植田小学校)	
	4月7日	第295回支部常任幹事会	
	4月23日	第11回四国支部幹事会	
	6月29日	つみ木贈呈式 四国電力総連(滝宮こども園)	
	7月7日	第296回支部常任幹事会	
	7月27日	KDDI 寄付金贈呈式	
	7月29日	森のつみ木広場(屋島コミュニティセンター)	
	8月3日	第297回支部常任幹事会	
	8月3日	森のつみ木広場(庵治小学校)	
	8月6~7日	4センターサミット	
	8月27日	ミャンマー緊急募金	
	9月1日	第298回支部常任幹事会	
	10月2日	森づくりプロジェクトMT.LOVE10(松山市忽那山)	
	10月6日	60周年記念式典& オイスカ時期10ヵ年計画発表リモート聴講会(研修センター)	
	10月9日	多様性社会に対応する豊かな心の育成事業について (香川県教育委員会人権・同和教育課)	
	10月13日	第299回支部常任幹事会	
	10月13・20・27日	香川県高松北中学校交流授業(研修センター)	
10月16~21日	香川国際フェスタ(アイバル香川)		
10月21~27日	高松市環境活動展(瓦町フラッグ8階)		
10月22~25日	海岸林再生プロジェクト研修(宮城県名取市)		
10月29日	Web報告会(メルカリ寄付推進)		
10月30日	どじょう汁交流会(研修センター)		
10月31日	高知県国際ふれあい広場2021(オーテピア4階)		
11月2日	研修生と国際交流(さぬき市立造田小学校)		
11月5~30日	竹林整備(綾川町周辺)		
11月8日	森づくりプロジェクトMT.LOVE10(松山市忽那山)		
11月9日	第300回拡大常任幹事会開催		
11月9日	オイスカ香川県青年会設立総会		
11月18日	四万十よんでんの森体験学習(四万十川よんでんの森)		
11月21日	第26回「山・林・SUN体験」植林ボランティア		
12月1~31日	オイスカ冬募金		
12月13日	森のつみ木広場(高松市立植田小学校)		
12月14日	第301回支部常任幹事会(JR四国本社)懇親会(パールガーデン)		
12月21日	オイスカ四国異文化交流{キムチ作り}(研修センター)		
1月12日	第302回支部常任幹事会		
1月15日	とくしまちなか花ロード(NPO法人新町川を守る会)		
2月4日	第303回支部常任幹事会		
2月12日	丸亀市マルタス&トークショー		
2月23日	香川県三豊市宝山湖ボールパーク植林		
3月2日	第304回支部常任幹事会		
3月18日	第33回オイスカ四国支部チャリティゴルフコンペ		
3月27日	お花見音楽祭@オイスカ憩いの森		



香川県ボランティア大賞 第20回大賞
(2021年3月3日)



【香川県立北中学校・高等学校との
連携協力に関する協定】を締結
(2021年3月19日)



香川県ボランティア大賞
第20回大賞(2021年3月3日)



ミャンマー緊急募金(2021年8月27日)



60周年記念式典
(2021年10月6日)



海岸林再生プロジェクト研修
(宮城県名取市)
(2021年10月22~25日)



オイスカ香川県青年会設立総会
(2021年11月9日)

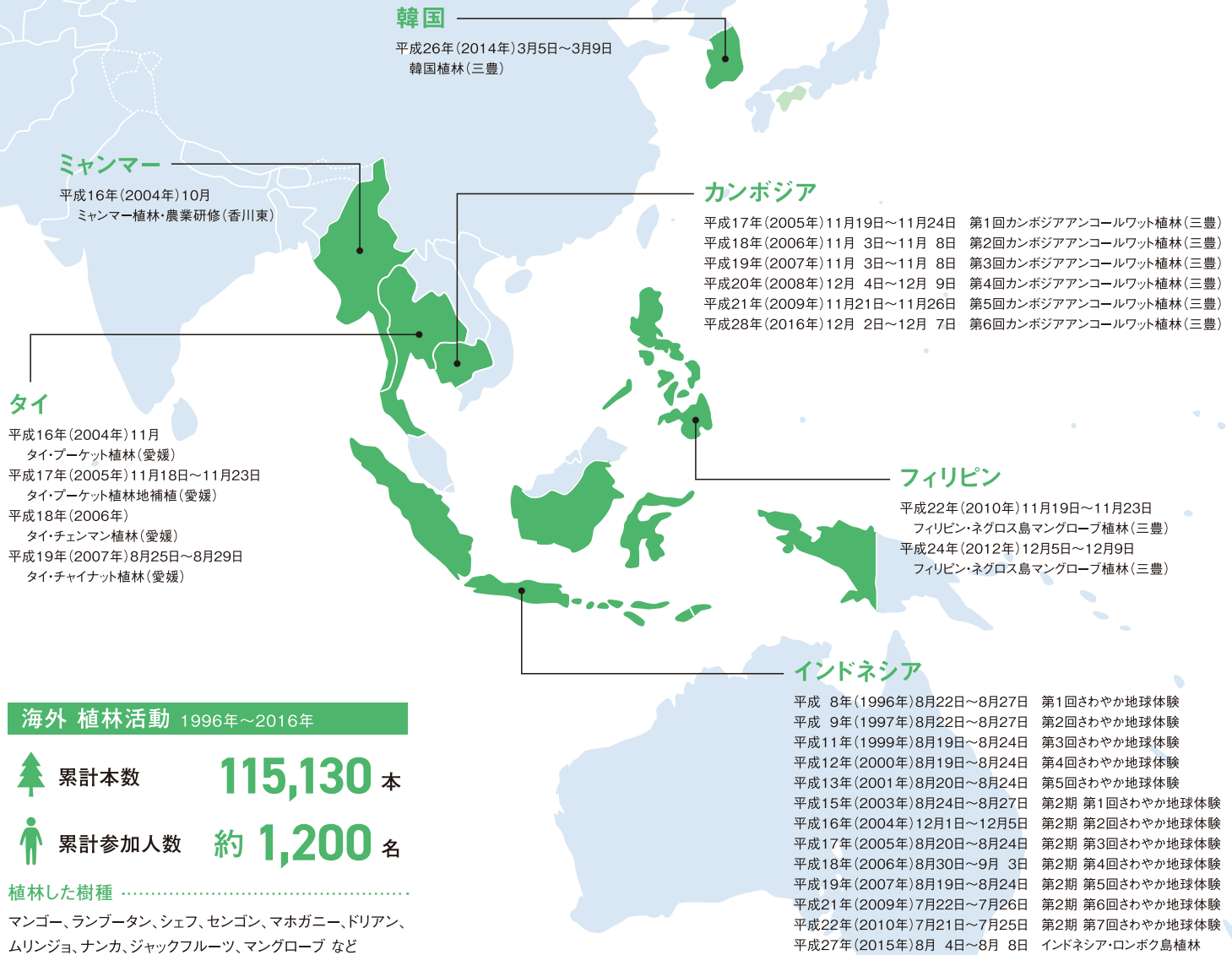


第26回「山・林・SUN体験」
植林ボランティア(2021年11月21日)

2021年

2022年

海外・国内における植林活動



「子供の森」計画とは？



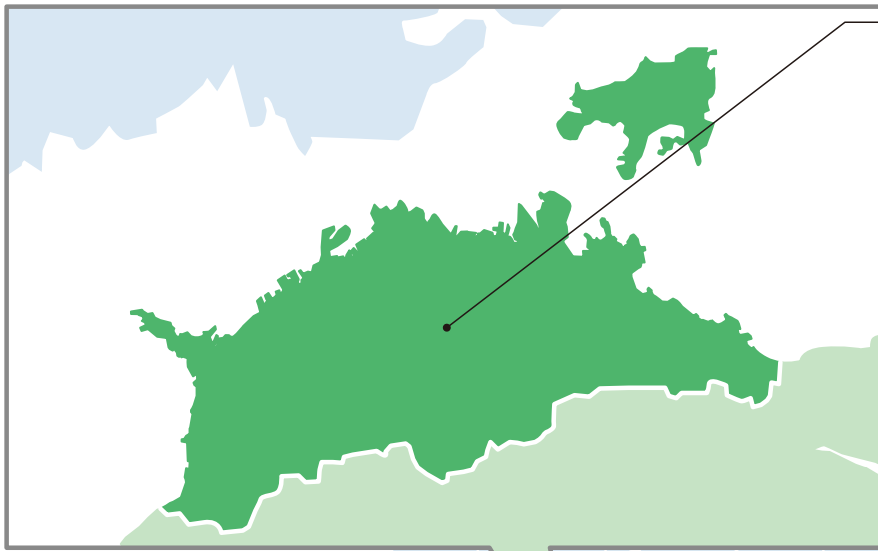
「子供の森」計画(CFP:Children's Forest Program)は、子どもたち自身が、学校の敷地や隣接地で苗木を植えて育てていく実践活動を通じて「自然を愛する心」「緑を大切にす気持ち」を養いながら、地球の緑化を進めていこうというプログラムです。1991年にはじまったこの活動は、2021年3月末現在、37の国・地域の5,343の学校が参加するまでにその輪が広がっています。

活動のステージは学校から地域へと広がっていきます

「子供の森」計画の最終的な目標は、参加している学校の生徒だけではなく、「地域の中心」である学校という拠点を活かし、家族や地域住民へ活動の輪を広げていくことです。地域を巻き込むことでその地域全体の活性化も促進させます。

「子供の森」計画 「子供の森」計画情報提供サイト

http://www.kodomo-no-mori.info/



香川県

- 平成 7年(1995年) 5月 香川県山本町河内植林
- 平成 8年(1996年) 3月 香川県山本町河内植林
- 平成 9年(1997年) 3月 香川県綾歌町森林公園内植林
- 平成 9年(1997年) 11月 香川県綾上町長柄ダム植林
- 平成10年(1998年) 3月 香川県高松市屋島植林
- 平成10年(1998年) 8月 香川県高松市屋島植林下草刈り
- 平成10年(1998年) 8月 香川県綾歌町下草刈り
- 平成11年(1999年) 4月 香川県高松市屋島植林
- 平成11年(1999年) 11月 香川県綾上町長柄ダム植林
- 平成12年(2000年) 3月 香川県寒川町門入ダム植林
- 平成12年(2000年) 8月 香川県高松市屋島下草刈り
- 平成12年(2000年) 11月 香川県財田町財田川植林
- 平成13年(2001年) 3月 香川県琴南町阿讃源流植林
- 平成13年(2001年) 8月 香川県高松市屋島下草刈り
- 平成13年(2001年) 11月 香川県三木町植林
- 平成14年(2002年) 3月 香川県綾上町植林
- 平成14年(2002年) 11月 香川県琴南町土器川源流植林
- 平成15年(2003年) 3月 香川県塩江町植林
- 平成16年(2004年) 3月 香川県綾上町植林
- 平成17年(2005年) 10月 香川県綾上町植林
- 平成18年(2006年) 11月 香川県直島町植林
- 平成19年(2007年) 3月 香川県三木町植林
- 平成19年(2007年) 11月 香川県直島町植林
- 平成20年(2008年) 11月 香川県直島町植林
- 平成21年(2009年) 11月 香川県まんのう町尾の瀬山植林
- 平成22年(2010年) 11月 香川県まんのう町第1回尾の瀬山植林
- 平成23年(2011年) 11月 香川県まんのう町第2回尾の瀬山植林
- 平成24年(2012年) 11月 香川県まんのう町第3回尾の瀬山植林
- 平成25年(2013年) 2月 一ノ谷小学校卒業生との合同植林(三豊)
- 平成25年(2013年) 11月 第4回尾の瀬山・オイスカ憩いの森植林
- 平成26年(2014年) 11月 第5回尾の瀬山・オイスカ憩いの森植林
- 平成26年(2014年) 3月 坂出推進協議会高松カントリークラブで植樹
- 平成27年(2015年) 11月 「山・林・SUN体験」植林ボランティア
- 平成28年(2016年) 11月 「山・林・SUN体験」植林ボランティア
- 平成29年(2017年) 11月 「山・林・SUN体験」植林ボランティア
- 平成30年(2018年) 11月 「山・林・SUN体験」植林ボランティア
- 令和 元年(2019年) 11月 「山・林・SUN体験」植林ボランティア
- 令和 2年(2020年) 11月 「山・林・SUN体験」植林ボランティア
- 令和 3年(2021年) 11月 「山・林・SUN体験」植林ボランティア

愛媛県・徳島県・高知県

- 平成 8年(1996年) 4月 高知県早明浦ダム植林
- 平成12年(2000年) 7月 徳島県美郷村植林
- 平成12年(2000年) 11月 徳島県美郷村植林
- 平成14年(2002年) 11月 徳島県美郷村植林

その他

- 平成26年(2014年) 11月 沖縄県伊是名村植林

国内 植林活動 1995年～2020年

🌲 累計本数 **53,971** 本

👤 累計参加人数 **6,495** 名

植林した樹種

ヒノキ、ミズナラ、ブナ、ケヤキ、クヌギ、ヤマザクラ、クロマツ、サクラ、シマトネリコ、テリハボク など

海岸林再生プロジェクト10年計画 ～これから30年～

2011年3月11日、押し寄せた津波は途方もない範囲で海岸のクロマツをなぎ倒し、ふるさを奪いました。これまで海の潮や風から暮らしを守っていたクロマツも津波には勝てませんでした。それでも、被災した住民の心にしっかりと刻まれたあの景色。「次の世代にも残したい」との思いを受け、オイスカへ地域住民による海岸林再生を支援することとなりました。

名取市を含む宮城県南部沿岸地域は、伊達政宗公の治世の時代に農地開墾されるのに合わせ、海岸林を造成した歴史があります。400年にわたり、枯れても植え直しながら代々守り続け、その後背地は一大農地となり、



小松菜やチンゲンサイ、米などを生産してきました。全国の多くの方々のご支援で再生が進む海岸林が、50年先、100年先、200年先まで地元の人々により守り育てられるよう、その地に暮らす人々が「我が事」と



して取り組む活動でありたいと願っています。また、この活動は、国や自治体の復興計画に沿い、国や宮城県、名取市との連携をはかりながら進めています。

四国研修センター



昭和56(1981)年、四国四県の協力で香川県香南町より現在の綾川町に移転。現在は、農業、食品加工技術を利用し、農村のふるさとづくりを推進する地域開発コースを軸に様々な研修を行い、リーダーシップを発揮する人材を育成しています。またオイスカ内外の若い人の有志でオイスカヤングリーダーズを結成。イベントや講座の中で研修生と地域との関わりを模索すると共にオイスカ普及に努めます。国際協力と地域活性化の両面からオイスカの果たす役割を構築するため、地元香川県のみならず多くの訪問者を対象に、イベント交流やインターン受け入れも積極的に行っています。令和3(2021)年までに39カ国1,650名を受け入れました。

多様な研修コース

コース	地域開発コース	家政コース
研修期間	10ヶ月	1年
概要	ふるさとに必要とされる、幅広い視野を持ったリーダーシップのある人材を育成するため、以前の生活改善・農業・家政のコースを合わせた国内では四国センターが唯一行っている研修コースです。	日本の調理を専門的に学び、健康的で経済的な食事作りを習得します。
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 約10ヶ月の研修期間中、日本語、規律訓練、そして農業や農産物で採れた作物を使用した食品加工、また栄養バランスを考慮した調理等の技術を身につけます。 ● 日本の地域事例の研究、マネージメント、環境保全、流通システム等について、講義や視察を通して理解を深めます。 ● 研修全体を通じて様々な役割を責任をもって行い、リーダーシップを身につけます。 ● 交流やプレゼンを通してオイスカの活動を広め、オイスカの普及啓発に貢献します。 ● 帰国後の活動計画であるアクションプランを作成しながら、立案方法やそれを実現するための手段を具体的に考える力を養います。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 調理を中心に、食品学や栄養学、普及法など研修科目は多岐に渡ります。 ● 調理では和洋食料理全般を通して、メニュー作りから食材購入のための工夫や精算まで勉強し、自国に合う料理を考えます。 ● 2年目からは先輩として研修生指導も行います。 ● 生け花や茶道、着物の着付けなどの日本文化から、基本的な作法や和の心を学びます。 ● 調理場や食堂、食品の管理を担当し、責任感を養います。
帰国後の予定	自国のオイスカ研修センターで職員になり、研修生指導、センター運営の中核を担います。習得した日本語を活かして、自国と日本のオイスカ、日本のオイスカ会員をつなぐ調整役となります。ふるさとでプロジェクトをはじめ、自身や村の生活向上に貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 自国のオイスカ研修センターで調理を担当し、研修生への指導も行います。 ● 栄養に関する指導を行い、地域の食に関する意識を変え、健康管理に取り組んでもらいます。 ● 日本で学んだことから地域にある食材の効果的な活用を考え、普及します。

人材育成事業

オイスカの活動の基本は「人づくり」。使えばなくなる物資援助より、人に伝えて広げることができる技術支援が必要とされています。オイスカは農業技術指導を中心とした「人づくり」に取り組んでいます。

国内では、主に4つの研修センターで、アジア太平洋の国々を中心とした青年への農業や女性生活改善の指導など、人材育成事業を行っています。

オイスカは創立以来、開発途上国の地域産業を支えるリーダーを育てるため、一貫して農業分野、工業分野の人材育成に力を注いできました。その中心を担うのが国内外にある研修センターでの研修と、農業や工業などの特定の分野について、より専門的な知識や高度な技術の習得を目指した外部委託による研修です。

国内4つの研修センターでは、毎年、100名以上の青年を受け入れて、農業を中心に各自のテーマに沿った研修を約1年かけて行っています。



つみ木広場

森づくり

つみ木の香りや肌触りなど、つみ木と触れ合うことを通して、子どもたちの森や自然に対する興味を引き出したり、触れ合うことによって「間接的な森づくり」です。

環境教育

「間伐材」というキーワードから森や自然の状況を知り、森林整備や環境保全への意識を持つ人を幼い子どもから一人でも増やしていきたいと考えています。

人づくり

情操教育

「森のつみ木広場」では、子どもたちが皆で一斉にたくさんのつみ木で遊ぶことから、仲間との作品づくりを通して創造性や協調性を育みます。



2021年度の活動

3月26日	森のつみ木広場(高松市立植田小学校)
6月29日	つみ木贈呈式 四国電力総連(滝宮こども園)
7月29日	森のつみ木広場(屋島コミュニティセンター)
8月3日	森のつみ木広場(庵治小学校)
12月13日	森のつみ木広場(高松市立植田小学校)

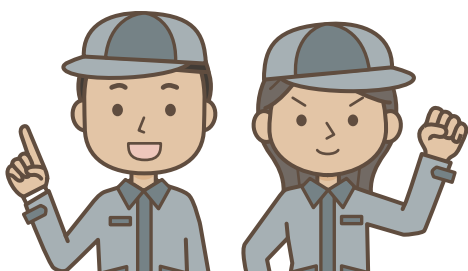
開催予定及び実施のご要望・ご相談につきましては、
お気軽に(公財)オイスカ四国支部事務局までご連絡ください。

技能実習生制度

昭和38年からオイスカは広くアジア、太平洋諸国から多くの委託研修生を受け入れてきましたが、2010年の入管法改正にともなう新しい外国人技能実習制度へ移行し、インドネシア、マレーシア、フィリピン、ベトナム、ミャンマー、モンゴルの6カ国から技能実習生の受入れを行っています。

技能実習では、日本語などの基礎研修を受けた後、オイスカ会員の農家や企業で養鶏や養蚕、機械加工などの専門的な知識や技術、経営の考え方や厳しさを学びます。

そうした彼・彼女らが母国にもどり、地域開発のリーダーとして活躍してくれることを心から願い、近年では研修生の帰国後のフォローアップも充実させています。



オイスカの会員・支援者になって国際協力活動に参加しませんか？

オイスカが進める人材育成、海外開発協力、「子供の森」計画および啓発普及活動は、長期的な取り組みが必要です。継続的なご支援をお願いいたします。

ミャンマー緊急募金、冬募金&フィリピン募金へのご協力ありがとうございました！

今すぐできる支援の方法は5つ 無理なく続けられる方法をお選びください。

毎月の 継続寄附	<p>●ワンコインサポーター 500円×12ヵ月 ※月々の自動引き落とし。 毎月500円でオイスカ活動をトータルにサポート。8月に年次報告書が届きます。</p> <p>●マンスリーサポーター 2,000円～×12ヵ月 ※2,000円以上、任意(1,000円単位)の金額で月々の自動引き落とし。 毎月2,000円からのオイスカ活動トータルサポート。月刊「OISCA」で活動の様子をご報告。</p>
自由な寄附	<p>各種活動の推進のための寄附です。支援する事業は以下からお選びいただけます。</p> <p>●海外開発協力事業 ●「子供の森」計画事業 ●人材育成事業 ●啓発普及事業(国内の森づくりなど啓発普及全般) ●四国支部活動 ●トータルサポート</p> <p>1,000円～ ※1,000円以上、任意の金額。時期、回数は自由。</p>
「子供の森」 計画支援	<p>年間1口5,000円で「子供の森」計画を支援してくださる方を募集。 支援証、活動を伝えるニュースと現地の子どもたちからのグリーティングカードが届きます。</p> <p>5,000円／年</p>
賛助会員	<p>オイスカの活動に賛同し、ともに歩んでくださる方を募集。月刊「OISCA」で活動の様子をご報告。</p> <p>●維持会員 20,000円／年 ●特別会員 50,000円／年 ●維持法人 40,000円／年 ●特別法人 100,000円／年</p>
集めて送る	<p>●ベルマーク ●書き損じはがき</p> <p>自宅にしながら参加できるボランティアです。 ベルマークは1点=1円で「子供の森」計画に、書き損じはがきは各種活動推進のために使われます。</p>

支援に関する詳細は <http://www.oisca.org/support/> または四国支部にご連絡ください。

問い合わせ先	
■ 四国支部	〒760-0017 香川県高松市番町2-17-15 ファロス第一ビル 2F TEL 087-821-1503
□ 高松推進協議会	〒760-0017 香川県高松市番町2-17-15 ファロス第一ビル 2F[オイスカ四国支部内] TEL 087-821-1503
□ 坂出推進協議会	〒762-0011 香川県坂出市江尻町1721-10[(株)石井内] TEL 0877-45-0141
□ 三豊推進協議会	〒769-1502 香川県三豊市豊中町笠田笠岡3915-3[(株)イナダ内] TEL 0875-56-6001
□ 香川東推進協議会	〒769-2304 香川県さぬき市昭和5806 TEL 0879-52-5070
□ 中讃推進協議会	〒763-0034 香川県丸亀市大手町3-2-1[四国電力(株)丸亀営業所内] TEL 0877-22-5973
□ 綾川推進協議会	〒761-2103 香川県綾歌郡綾川町陶5179-1[オイスカ四国研修センター内] TEL 087-876-3333
□ 愛媛県推進協議会	〒790-0924 愛媛県松山市南久米町乙24-84 TEL 070-8524-0349
□ 徳島県推進協議会	〒770-8555 徳島県徳島市寺島本町東2-29[四国電力(株)徳島支店総務課内] TEL 090-3181-0158
□ 高知県推進協議会	〒780-0870 高知県高知市本町1-6-24[高知商工会議所総務部内] TEL 088-875-1177
■ 四国研修センター	〒761-2103 香川県綾歌郡綾川町陶5179-1 TEL 087-876-3333
■ オイスカ香川県青年会	〒760-0017 香川県高松市番町2-17-15 ファロス第一ビル 2F TEL 087-821-1503

